

参加と協働のまちづくり条例骨子・構成案に対するグループインタビュー			
実施日	平成 21 年 2 月 21 日（土）	実施場所	健康文化センター 4 階ほほえみ 3
参加団体	桜口魂（おおぐちだまし）	参加人数	4 人
活動概要	<p>成人の集い実行委員会のOB有志で結成。成人の集い実行委員会による地域貢献事業や成人式の企画運営を全面的にサポート。</p> <p>※その他、やろ舞い大祭の運営補助やふれあいまつり出展等の活動を展開。</p>		
主な意見の概要			
<p>■桜口魂の活動の源</p> <p>○桜口魂（20 代前半の若者）が、まちづくり活動を行おうとする意欲の源は何か。（若者は、都市部から発信される流行や、多様なライフスタイルの実現に興味を注ぎがち。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口町が好きだから。（全員） ・同じ世代が、地域から離れていくこと、地域に関心をもたなくなってしまうことが嫌だ。 <p>○大口への愛着が生まれる理由（きっかけ）は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで生まれ育ってきた“ふるさと”だから。 ・この歳になっても、友達づき合い（幼馴染）、近所づき合い（近所のおじさん、おばさん）の関係が残っている。親世代同士のつながりも強いと思う。 ・住みやすい土地柄だし、住む人の人柄もいい。地域内の人間関係が都市のように表面的ではない。 <p>※大口町の魅力 = 地域コミュニティ（人と人のつながり）</p> <p>■桜口魂の目指す活動（「こんな町にしていきたい」と思うこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも参加でき、みんながゆるやかにつながれる場をつくりたい（企画・提供したい）。 ・人と人のつながりが自然に広がっていく町になるといい。 ・私たちが、「プチ嬉しい」と思うことは、私たちのイベントに、ごく普通の住民の人たちが、普通に参加してくれること。 ・そこに、自分の「知っている人」がいたりすると余計に嬉しくなる。 ・そこで新たに知り合った人が、また別の機会に来てくれれば、さらに嬉しくなる。 ・地域の人たちを応援できるイベントや教室、活動を、行政ではない別の担い手でつくれると良い。 <p>■条例骨子・構成案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この条例ができることで、積極的に参加する人、まったく参加しない人、関心を持つ人、無関心な人など、意識や行動の温度差が人付き合いに影響を与えないか心配。 ・条例案はできるだけ早く公表をして、多様な意見を募ると良い。 ・住民等の、「等」にあたる人たち（在勤者等）への説明があるのではないかな。 ・「ふるさと納税」が始まっているが、「ふるさと還元」的な制度があっても良いと思う。例 			

えば、ふるさとを守ること、ふるさとで子を産み育てることに対して、何かしらが還元されるというような。それによって、大口町に住みたい、子を産み育てたいと思う人が増えると良い。

- ・骨子構成案の表現は分かりにくいと思うが、条例ならば仕方ないと思う。そして、この条例も必要だと思う。ただ、漠然としていて具体的なものは見えてこない。
- ・「朝ご飯条例（青森県鶴田町）」のように住民運動にまで発展するような、また、みんなが目を向けるような、おもしろい要素があっても良いのではないか。
- ・条例の内容は、これまでに町の中で言われてきたこと、行われてきたことと変わらないので、興味がわいてこない。
- ・インパクトが足りないのでは。関心をひくようなインパクトを条例の中に加えられると良いと思う。